

田上心リハだより

07
VOL.13

令和6年リハビリテーション科 業績報告

令和6年も当院リハビリテーション科ではより多くの方に質の高い医療を提供できるように、チーム一丸となって取り組んでまいりました。

診療面では、入院・外来ともに患者数が前年を上回り（図1）令和5年 7444件→7982件
特に心臓リハビリテーション（心リハ）実施件数割合（図2）では、**約4割が外来心リハ対象**となっており、週平均（図3）において令和6年は67.5件（令和5年：58.6件）と特に心大血管リハビリテーションでは専門的なプログラムへのニーズが高まっていると考えます。

図1：リハビリテーション件数

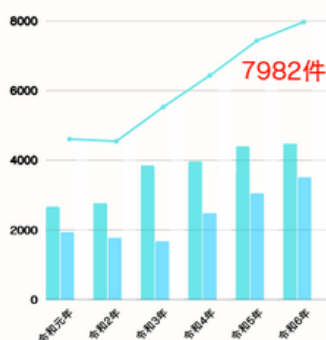
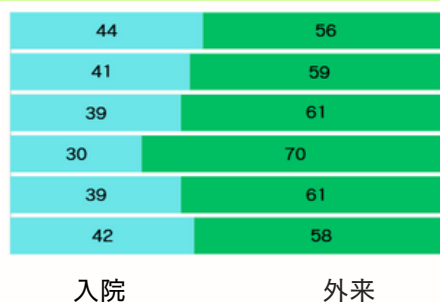
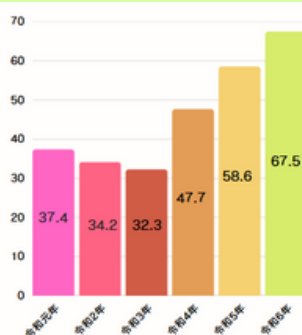
図2：心臓リハビリテーション
入院・外来実施件数割合

図3：外来心リハ週平均実施件数



年代別では70～90歳代で患者数が多く、**60歳以下の方はやや増加傾向**となっており、1次予防に取り組んでいく必要があると感じました。

基幹病院や多職種で連携を図り、急性期から生活期に至るまで切れ目のない支援を提供するための体制作りに励んでいます。（図5）

図4：心リハ対象疾患

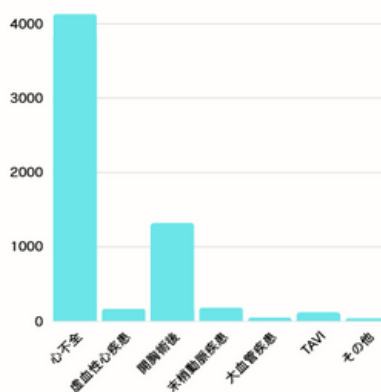
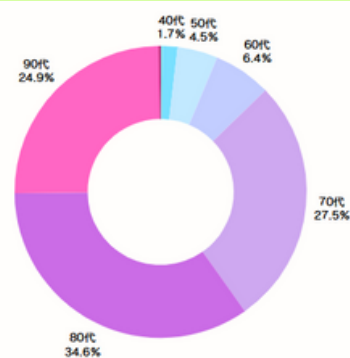


図5：外来心リハ世代別割合



教育においては、以前から開催している心リハカンファレンスを継続して行うことでスキルアップを図りつつ、多職種との連携強化も行いました。

院外活動では、学会発表は4回行うことができ、セッション内ではありますが優秀賞をいただくことができました。

今後も、患者様のQOL（生活の質）向上に貢献できるよう、専門性とチーム力を生かしたリハビリテーション医療の提供に努めてまいります。

リハビリテーション科：那須 信久



医療法人 社団 大玄会

田上心臓リハビリテーション病院
TANOUE CARDIAC REHABILITATION HOSPITAL

〒860-0842

熊本市中央区南千反畑町10-3
TEL:096-354-5885 FAX:096-354-5889
病院HP:tanoue-heart-reha.com

各部署からのお知らせ

リハビリテーション科より



令和7年5月から
より効果的な運動療法を患者様に提供できるように
自転車ergometer 4台
リカンベント式ergometer 1台
(Senoh社: CORDLESS BIKE BFU/BFR)
を新たに導入しました。



病院全体より

院外での活動について

日時: 令和7年5月26日
場所: 熊本大学病院 くすのきテラス大会議室
令和5年度
熊本県心臓リハビリテーション推進事業学術研究会
「急性期病院から熊本県の心リハを至適化する」

当院大嶋院長が
座長として参加しました。



新入職員紹介

今年度より、新たに4名の新入職員が入職しました。

看護師2名
薬剤師2名



編集後記 — 日に新たにまた日に新たに —

文化の継承

「オギヤ・オギヤ」三月末に生まれた孫娘で我が家はたいそうにぎやかである。ミルクを飲みながらじっと私の顔を凝視する孫娘を見ていると自分の口元が緩んでしまう。この孫(こ)はどんな生涯を送るのかな、この孫が成人するまで自分は生きているかな、など要らぬことを考えてしまう。

国史学の泰斗(たいと)平泉澄(きよし)先生が昭和四十五年七六歳の時、児孫への最後の贈り物、つまり遺言として日本史上著名な人物を中心に、子供たちに呼びかける形式で日本の歴史を書かれたのが「少年日本史」で、その後廉価な分冊文庫本として昭和五十三年に「物語日本史」として再出版された。

私は学生時代に愛読しており、これから孫たちに聞かれてもちゃんと答えられるようにと思い、五月の連休に再読することにした。

上巻の「序」に平泉先生がこの本を書く契機となった慄然とする出来事が書いてあった。先生が昭和二十二年頃山奥の村祭りに行かれる途中子供たちとの次のような会話が合った「君が代、知っているか?」「知らない」「日本という国は知っているか?」「知らない」「アメリカは?」「聞いたことがある」。その当時米国占領下であり、世界には征服され絶滅された民族はいくつもあつたが、日本も今は他人ごとではないと痛嘆した、と述べておられる。その後、日本が独立した一年後の昭和二十八年故郷の福井の中学校での講演で(日本の)重要な歴史事実を幾つか紹介された時、子供たちの感動に輝く眸(め)が忘れられないと書かれている。そして「父祖の辛苦と功業とを子孫に伝え、子孫もまたこの精神を継承して進むことを期待しつつ、しみじみと誠実に(日本の歴史)語ろうと筆を執った」と先生の思いが書かれている。

古来、家に家訓・庭訓があり、国が歴史教育を重んじるのは、父祖の精神功業が継承されるためであり、後世にてこれを継承することがないならば、すべてその人と共に消滅してしまふであらう。

我々の勤める病院・医院や会社などの職場でも同じことが言えるだろう。万葉集に柿本人麻呂の有名な歌がある。

東(ひむがし)の野にかぎろひの

立つ見えて かへり見すれば 月傾(かたぶ)きぬ

万葉時代はすべて漢字で書かれていたのが、平安時代に平仮名、カタカナそして五十音図が開発され、さらに契沖はじめ多くの学者の努力により現代の私たちは万葉集を理解し楽しむことができる。まさに文化の継承であらう。

孫の顔を見ながら私も遺言を書く年になったんだと実感した次第である。